

高校生のみんなへ！
—今考えて欲しい「長生きリス
ク」と「セーフティーネッ
ト」, そして
「支え合う社会」を—

昭和音楽大学・短期大学部
梶ヶ谷 穰

(1)授業のはじめに・・・みんなに「質問」です！！

①あなたは「**お金**」が好きですか？ ➡大好き！

➡特に好きではない！

②あなたにとって、「**お金**」と「**愛**」, どちらが大切？

➡「**お金**」の方が大切！ ➡「**愛**」の方が大切！



(いらすとや)

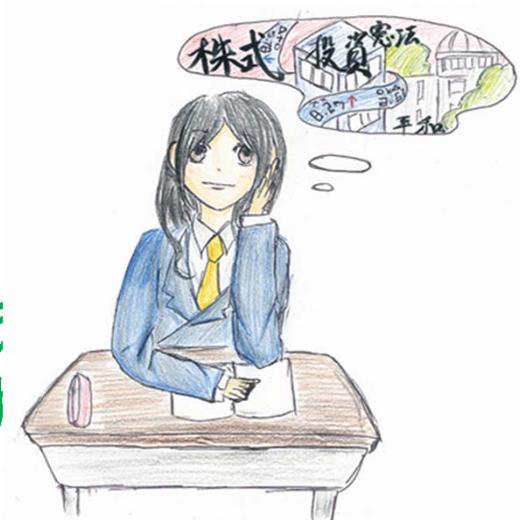


よく使うイラストVOL.6

(2) 高校生の「社会保障」アンケート を見てみよう！！

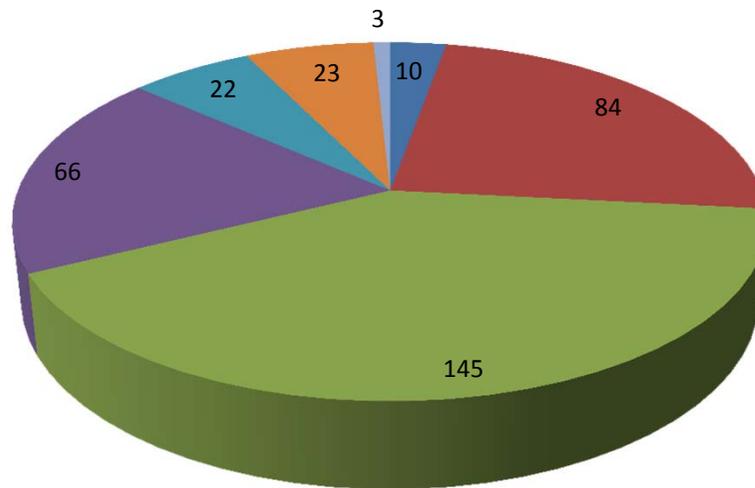
高校生は、「老後」、「老後の経済生活」、
そして「社会保障」や「年金」をどのように
考えているだろうか？ ……いや、「考えてい
ない?!」のでは。

→神奈川県立海老名高校
「消費・経済研究会（ファイナンス・クリ
平成26年度「社会保障アンケート」に」



①あなたは、現在、「社会保障」に興味・関心がありますか。

ア. とてもある	10
イ. まあまあある	84
ウ. どちらともいえない	145
エ. あまりない	66
オ. ほとんどない	22
カ. まったくない	23
無回答	3
合計	353

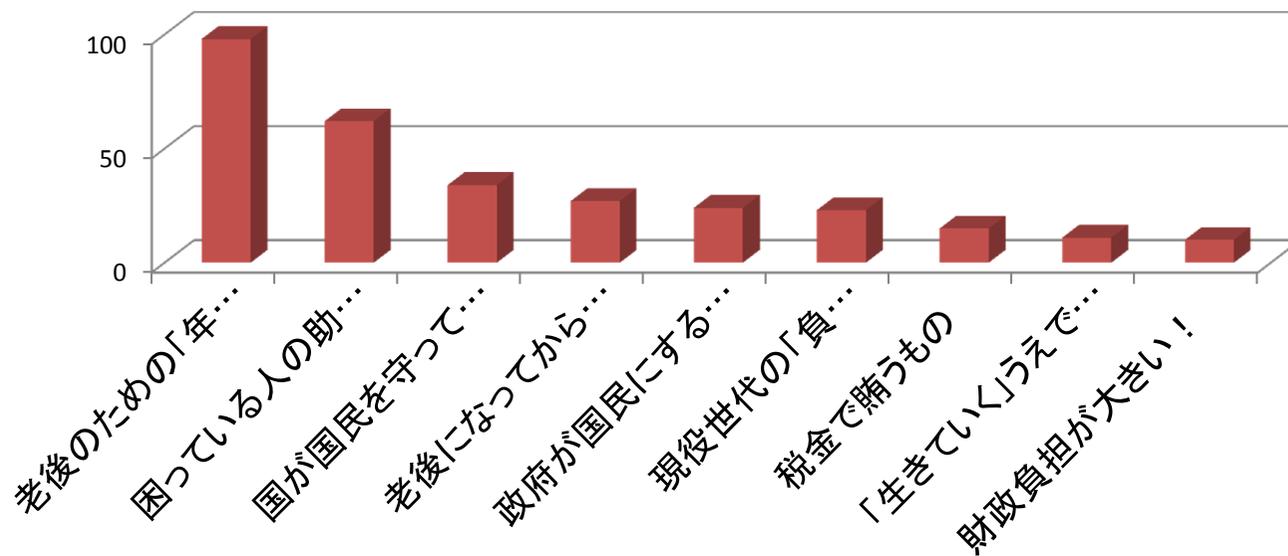


- ア. とてもある
- イ. まあまあある
- ウ. どちらともいえない
- エ. あまりない
- オ. ほとんどない
- カ. まったくない
- 無回答

②あなたは、「社会保障」に対してどのような
“イメージ”を持っていますか。自由に回答して下さい。

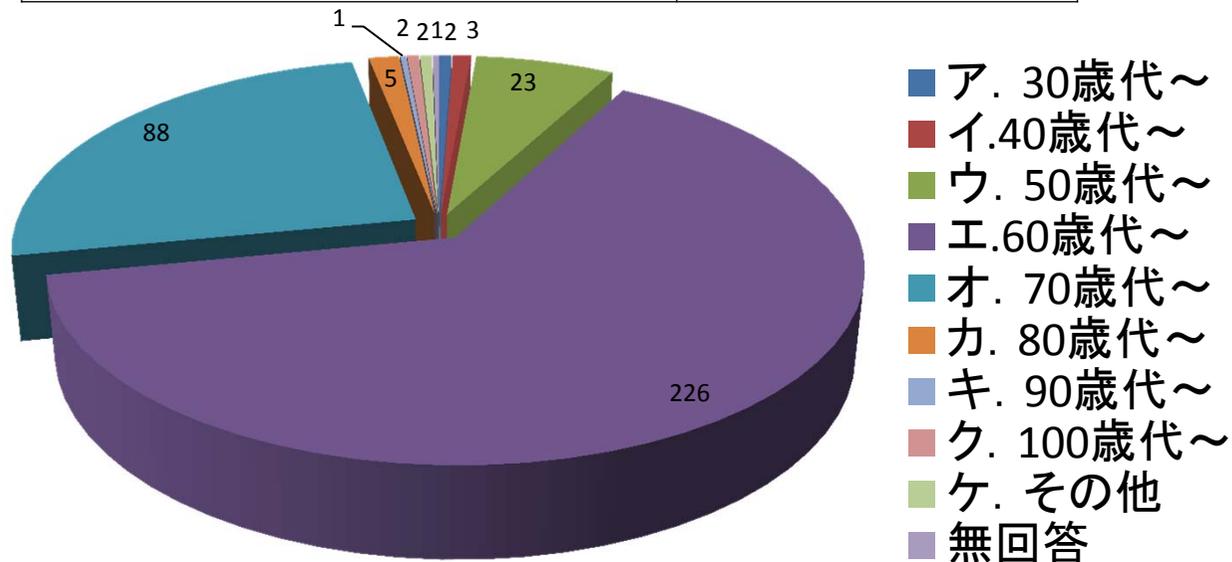
(多数意見の主旨要約)(353人)

老後のための「年金」	98
困っている人の助けになるもの	62
国が国民を守ってくれている	34
老後になってからのこと	27
政府が国民にすること	24
現役世代の「負担」が大きい！	23
税金で賄うもの	15
「生きていく」うえで必要なもの	11
財政負担が大きい！	10



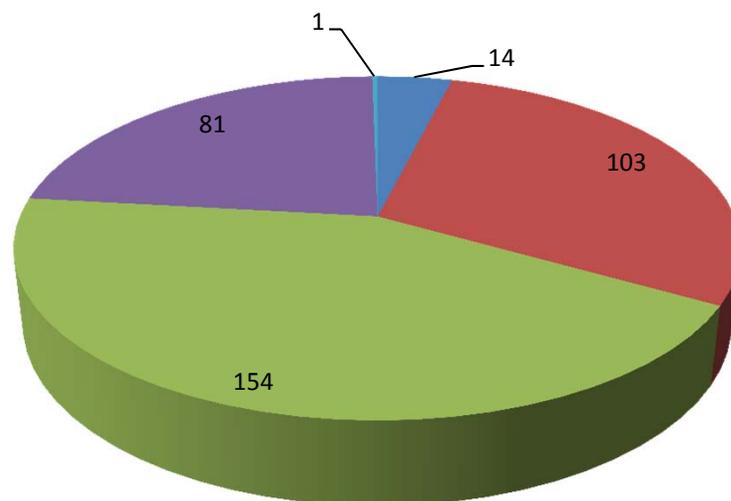
③あなたにとって、「老後」とは何歳ぐらいからだと思いますか。(353名)

ア. 30歳代～	2
イ. 40歳代～	3
ウ. 50歳代～	23
エ. 60歳代～	226
オ. 70歳代～	88
カ. 80歳代～	5
キ. 90歳代～	1
ク. 100歳代～	2
ケ. その他	2
無回答	1
合計	353



④あなたは自分の「老後」の生活について(特に経済的な生活),
考えることがありますか。

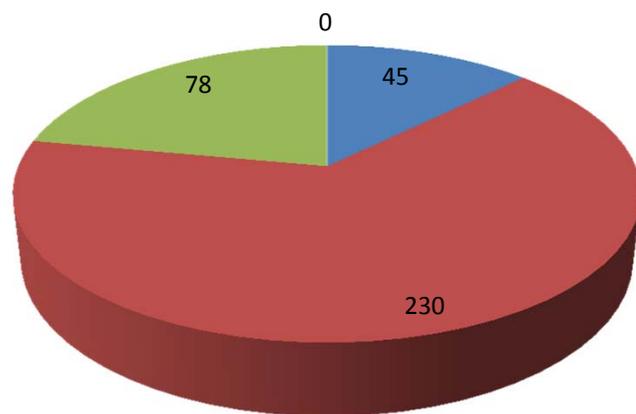
ア. よく考える	14
イ. 時々考える	103
ウ. 考える時もある	154
エ. 全く考えない	81
無回答	1
合計	353



- ア. よく考える
- イ. 時々考える
- ウ. 考える時もある
- エ. 全く考えない
- 無回答

⑤「社会保障」は「**老後**」の**イメージ**が強いですが、子育てや病気・障害など若い時期(世代)にも役立っていることをあなたは知っていますかしていますか。

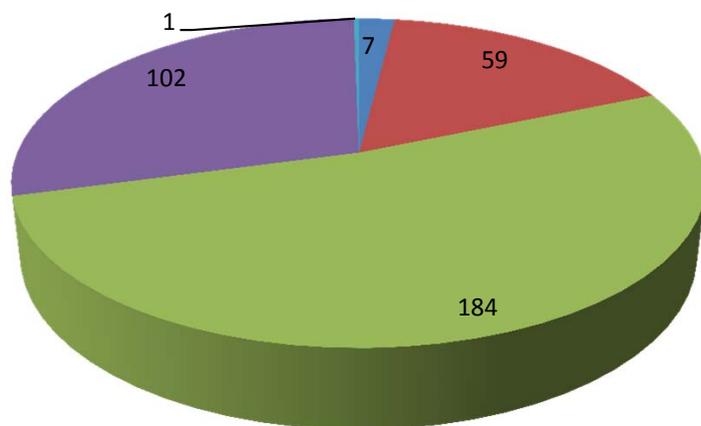
ア. 知っている(把握している)	45
イ. なんとなく知っている(なんとなく把握している)	230
ウ. 知らない	78
無回答	0
合計	353



- ア. 知っている(把握している)
- イ. なんとなく知っている(なんとなく把握している)
- ウ. 知らない

⑥「社会保障」に関して、あなたの家庭で話題になることがありますか？

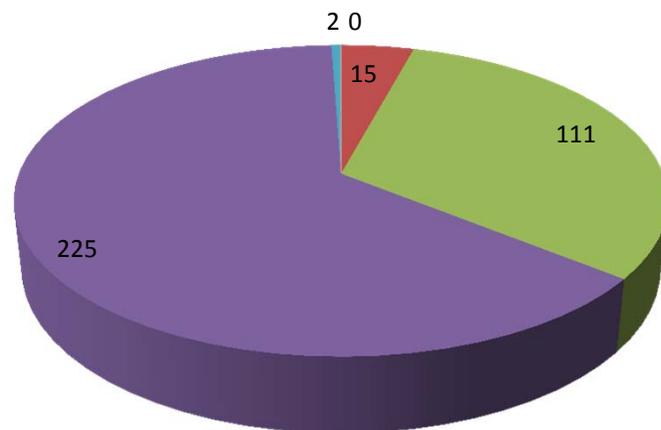
ア. よくある	7
イ. 時々ある	59
ウ. ほとんどない	184
エ. まったくない	102
無回答	1
合計	353



- ア. よくある
- イ. 時々ある
- ウ. ほとんどない
- エ. まったくない
- 無回答

⑦「社会保障」に関して、「友だち」同士で話題になることがありますか？（353名）

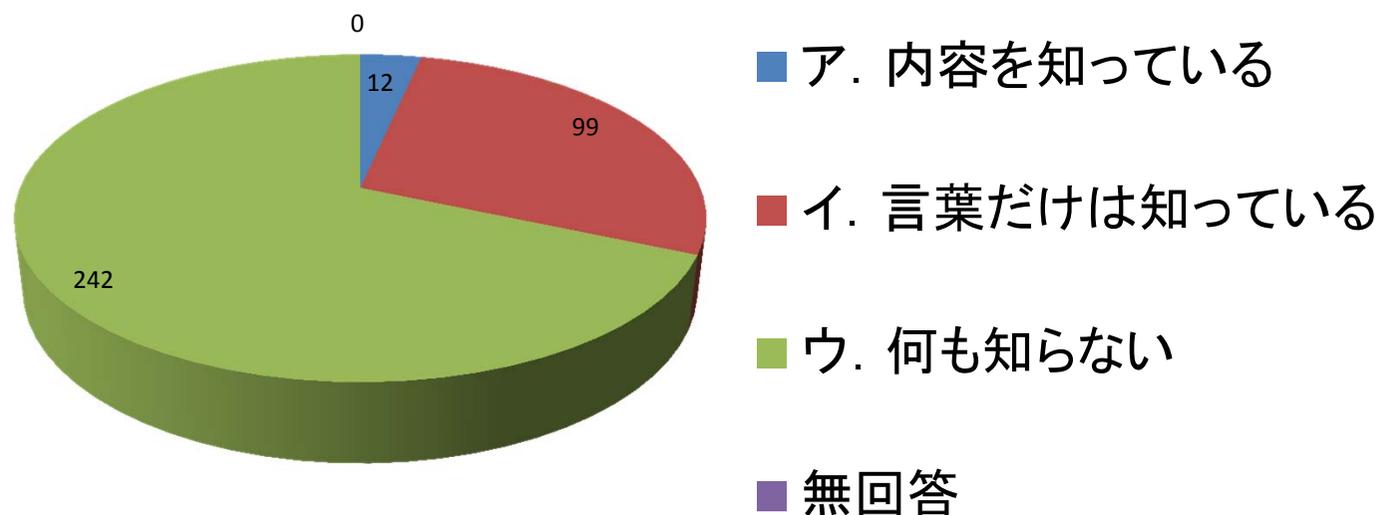
ア. よくある	0
イ. 時々ある	15
ウ. ほとんどない	111
エ. まったくない	225
無回答	2
合計	353



- ア. よくある
- イ. 時々ある
- ウ. ほとんどない
- エ. まったくない
- 無回答

⑧あなたは、「**税と社会保障の一体改革**」について知っていますか。

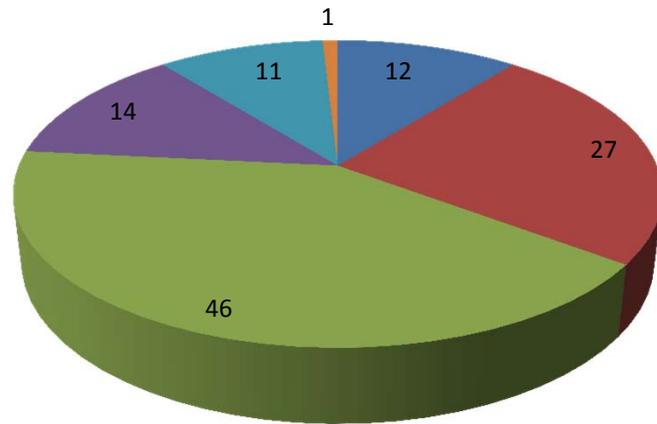
ア. 内容を知っている	12
イ. 言葉だけは知っている	99
ウ. 何も知らない	242
無回答	0
合計	353



⑨上記の⑧でア. とイ. を回答した人へ

あなたは「税と社会保障の一体改革」について、興味・関心がありますか？

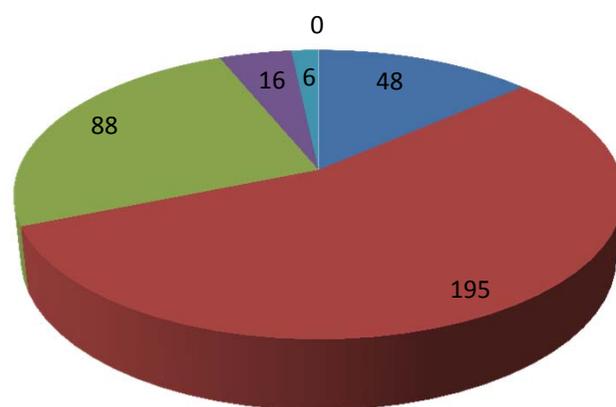
ア. とてもある	12
イ. まあまあある	27
ウ. どちらともいえない	46
エ. あまりない	14
オ. (ほとんど)ない	11
無回答	1



- ア. とてもある
- イ. まあまあある
- ウ. どちらともいえない
- エ. あまりない
- オ. (ほとんど)ない
- 無回答

⑩あなたは、高校生が「社会保障」について、理解し考えることは重要だと思いますか。

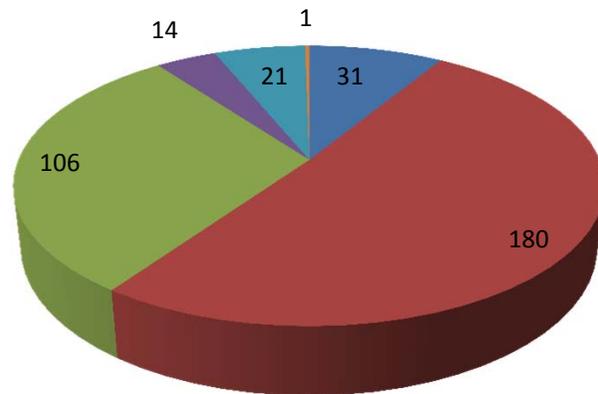
ア. とても思う	48
イ. 少し思う	195
ウ. どちらともいえない	88
エ. あまり思わない	16
オ. (ほとんど)思わない	6



- ア. とても思う
- イ. 少し思う
- ウ. どちらともいえない
- エ. あまり思わない
- オ. (ほとんど)思わない
- 無回答

⑪あなたは「社会保障」について、今後、関心をもって学習したいと思いますか。

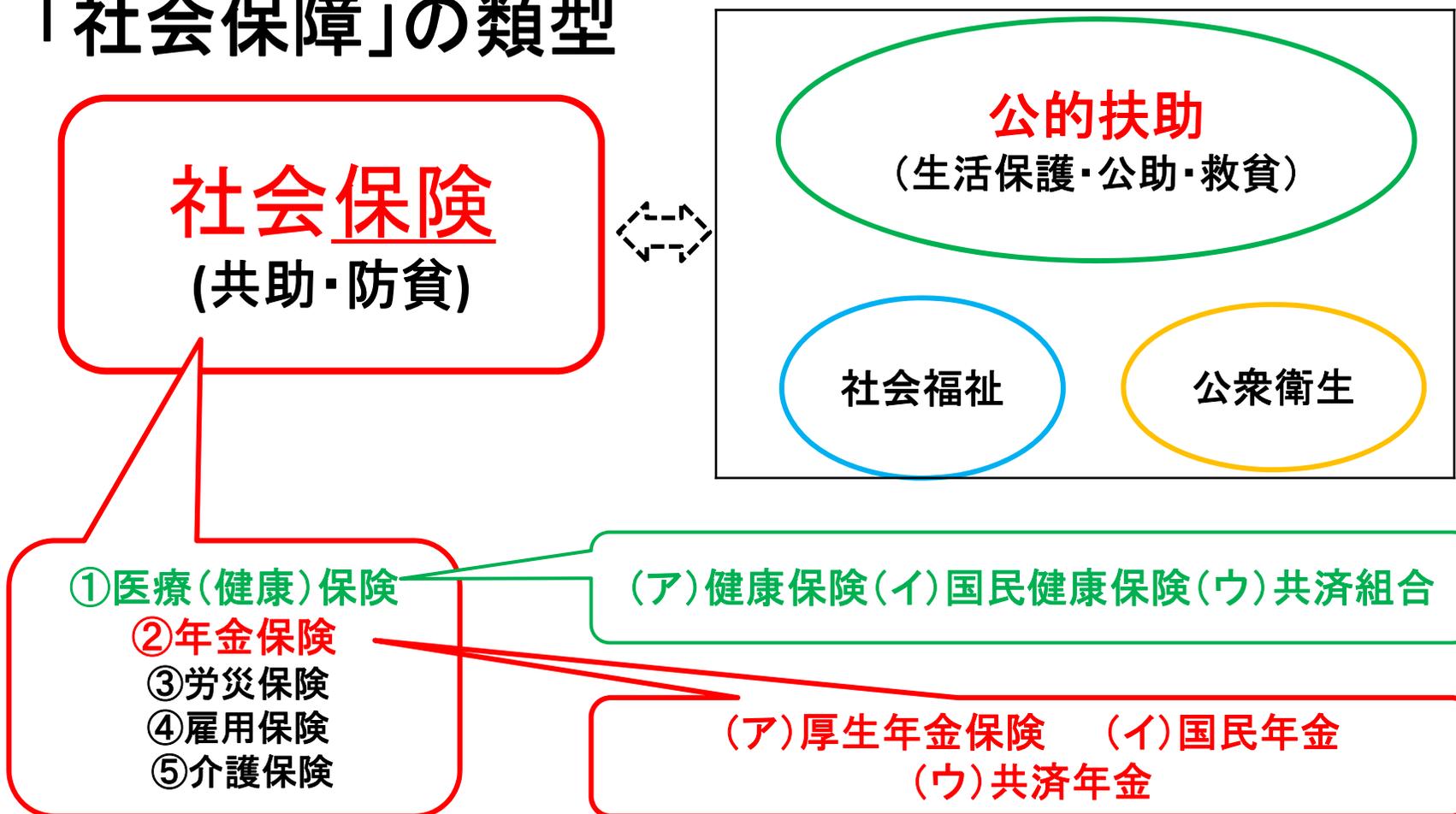
ア. とても思う	31
イ. 少し思う	180
ウ. どちらともいえない	106
エ. あまり思わない	14
オ. (ほとんど)思わない	21
無回答	1
合計	353



- ア. とても思う
- イ. 少し思う
- ウ. どちらともいえない
- エ. あまり思わない
- オ. (ほとんど)思わない
- 無回答

(3) 社会保障制度(その類型)

「社会保障」の類型



○ 医療(健康)保険の具体的計算事例

Q. 部活動中に骨折して、入院・手術……。あなたは窓口で保険証を出して3万円を支払いました。もし保険証がなかったら、いくら支払うことになるでしょう？

- (ア)6万円 (イ)9万円
(ウ)10万円 (エ)15万円



(いらすとや)

厚労省資料(「社会保障の理念やあり方を考えるシート」より)

○ 医療(健康)保険の具体的計算事例 (解答と「考えてみよう！」)

Q. 部活動中に骨折して, 入院・手術……。あなたは窓口で保険証を出して3万円を支払いました。もし保険証がなかったら, いくら支払うことになるでしょう?

(ア)6万円 (イ)9万円 (ウ)10万円 (エ)15万円

★解説……日本では「国民皆保険」が達成されています。保険証の提示で, 全国のほとんどの医療機関で, 医療費の3割(年齢により異なる)の自己負担で済んでいます。持病があっても, 高齢者でも加入する(できる)。

◎さらに高額療養費制度で, 例えば100万円の医療費の場合の自己負担は9万円。

考えてみよう!

「損」か「得」か? ⇒多くの方は「得」と思うのでは? 特に病院に通院・治療している「高齢者」は, 「得」と思っている? またみんなが, ケガや病気などの「リスク」に対処するために「保険料」を支払っている。「保険料」は他者に対する「シェア・愛」でもある?!

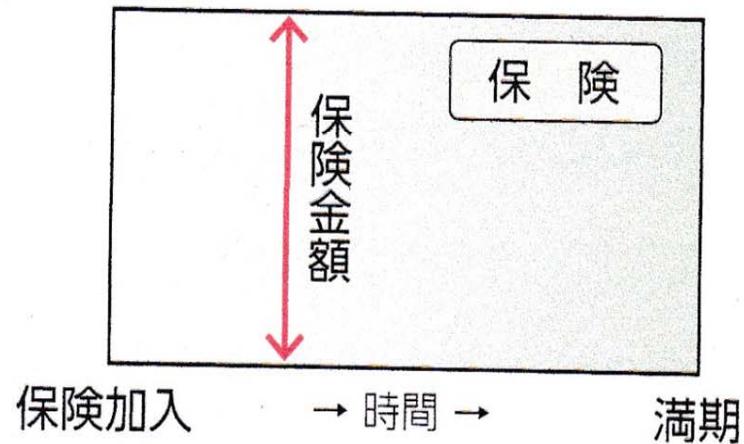
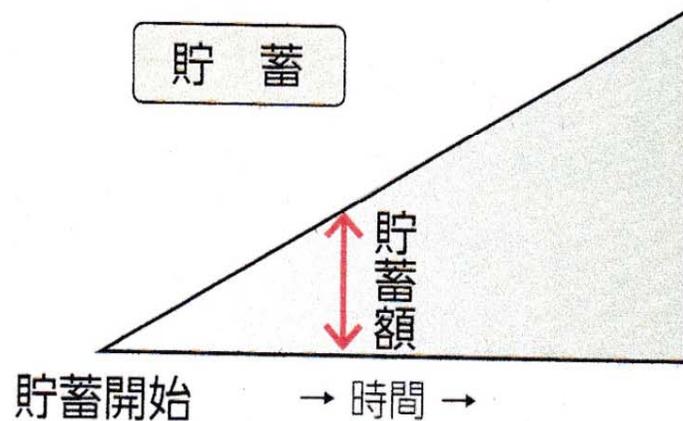
○ 「貯蓄」と「保険」の違いとは！

『大学生のための人生とお金の知識』（金融広報中央委員会）より

「貯蓄」に対して、「保険」は大きな損失もすぐにカバーできる。

皆で支払った保険料でリスクをカバーする！「幸せ」をシェア！！

「貯蓄は三角、保険は四角」



(4) 年金保険について

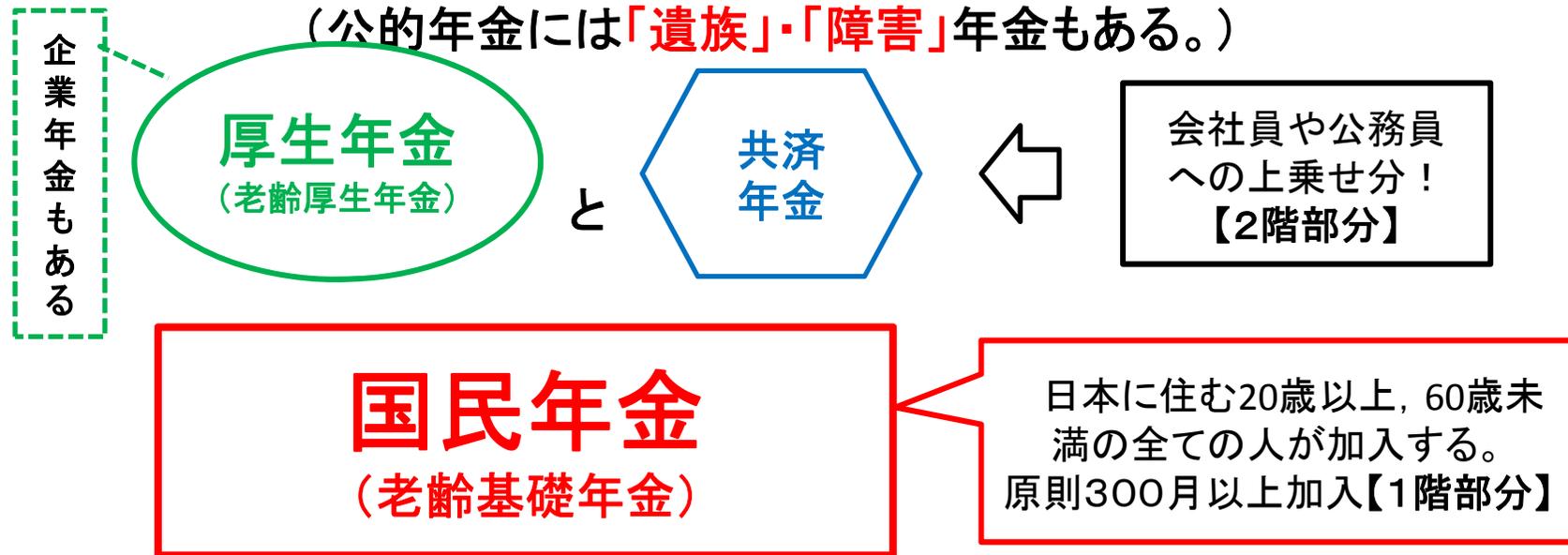
(1) 年金保険(国民年金や厚生年金など)・・・「**仕送りの社会化**」

(2) 年金保険は、政府によって加入が義務づけられている。

→わが国では、「国民皆保険(皆年金, 皆医療保険)」, この社会保険は、保険料や税金によって運用されている。

(3) 「年金保険制度」(公的年金)の概要・・・生涯にわたる「**保険**」

(公的年金には「**遺族**」・「**障害**」年金もある。)



※ただ「年金」は生活費の一部(防貧)で、生活を保障するものではないことを認識・把握しよう。→自らの「貯蓄」等の「自助」努力, 準備が必要である。

○ 「学生」・「若年者」と「年金保険」について！

「学生」の皆さんへ！

「保険」としての特典・メリットか？！



(よく使うイラストVOL.6)

- (1) 国民年金の保険料を払っていれば、
「障害基礎年金」を受けることができる
(保険料を払わなければ、年金の受給できない)。
- (2) 但し、20歳以上の学生の所得が一定以下の場合に、**申請**すれば**納付の猶予(先送り)**される**「学生納付特例制度」(ガクトク)**があり、猶予期間中の病気・ケガで障害が残った場合、**「障害基礎年金」**を受け取れる。猶予手続をないと受け取れない。

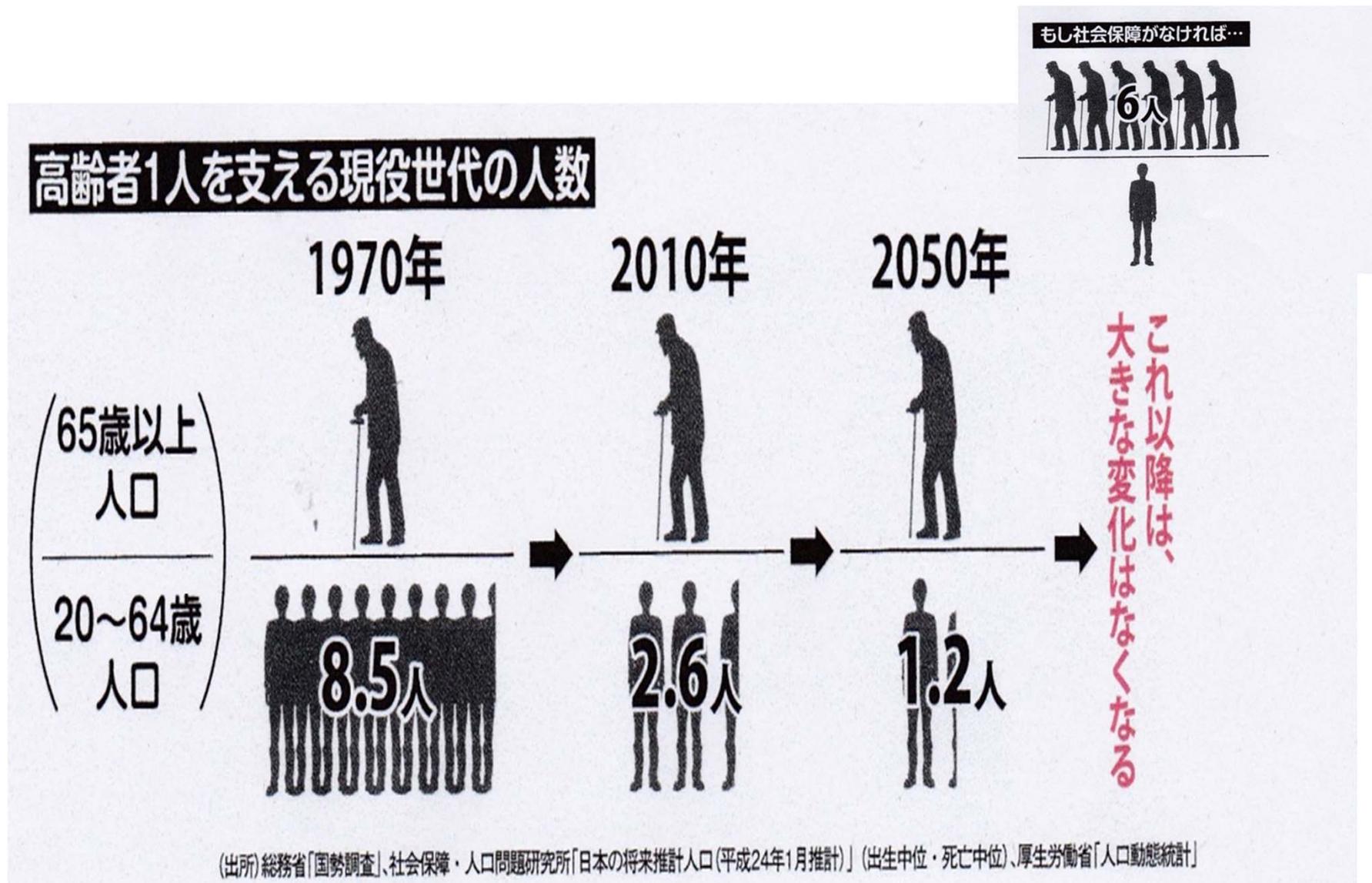
● また猶予期間は、受給資格期間に参入される(原則、納付額には反映されない！)。

●「申請」が重要だ！

「若年者」へ！

- (1) **「若年者納付猶予制度」**がある。30歳未満で、一定所得額以下の人の**「申請」**によって保険料納付が**「猶予」**される。 **●「申請」が重要だ！**

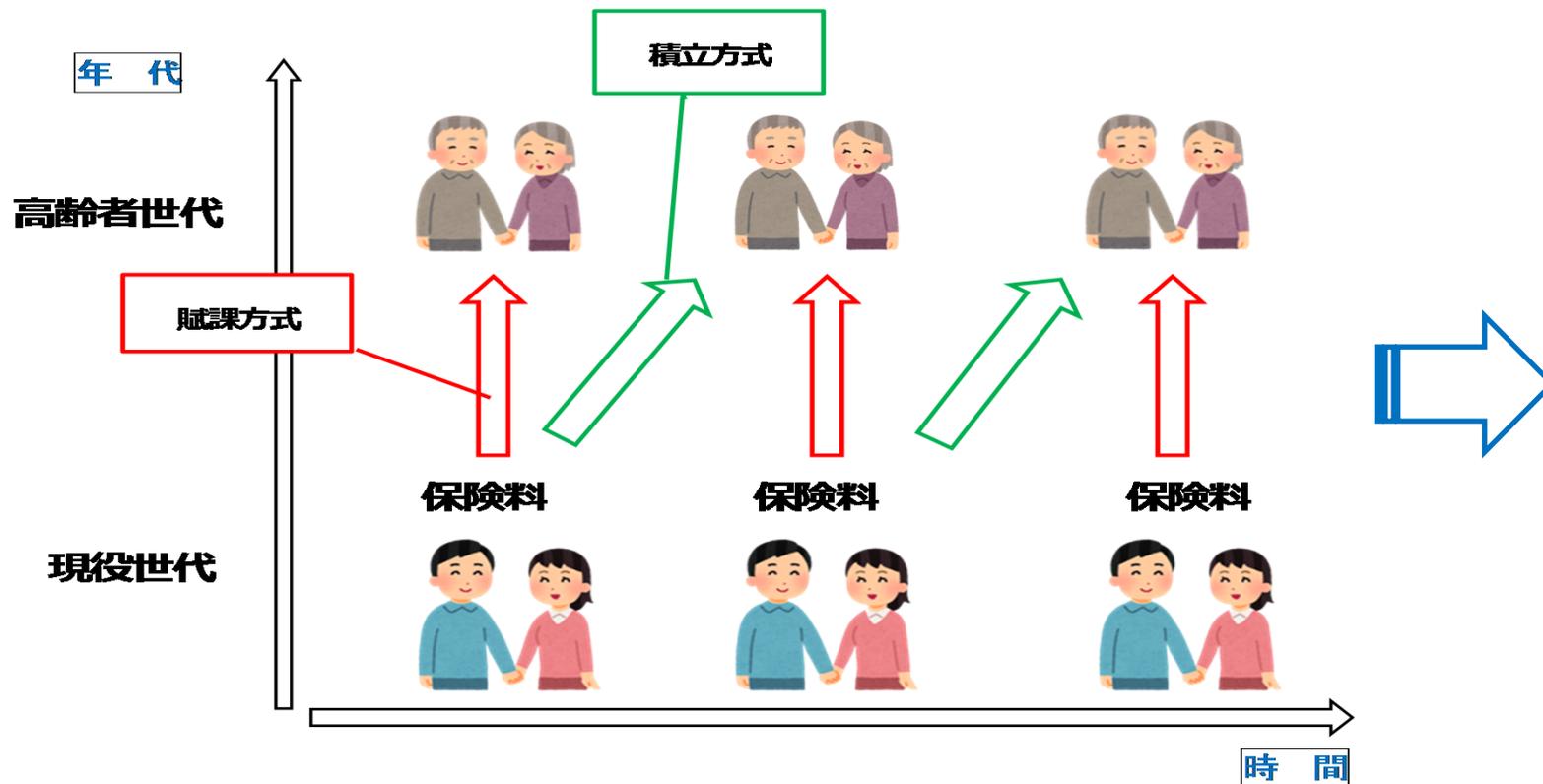
○ 高齢化と、持続可能な「年金」制度！



○ 「年金」の方式は2つ・・・賦課方式と積立方式

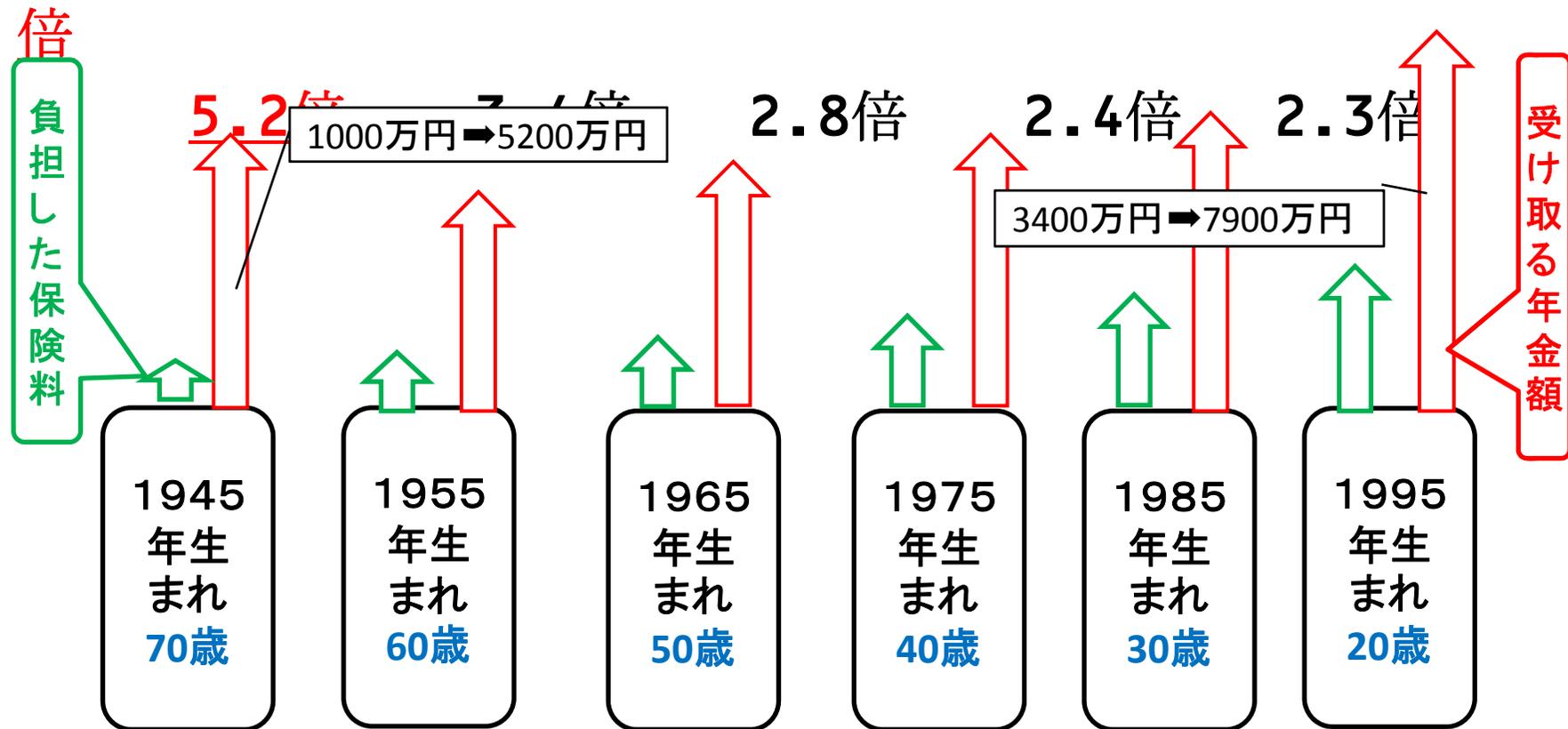
➡ どちらも少子高齢化や経済の低成長の影響を受ける！

- ① 賦課方式・・・世代間扶養の仕組み, リスクを「全世代」で分散
- ② 積立方式・・・世代ごとに年金会計が分離, リスクを「同一世代」のみで分散



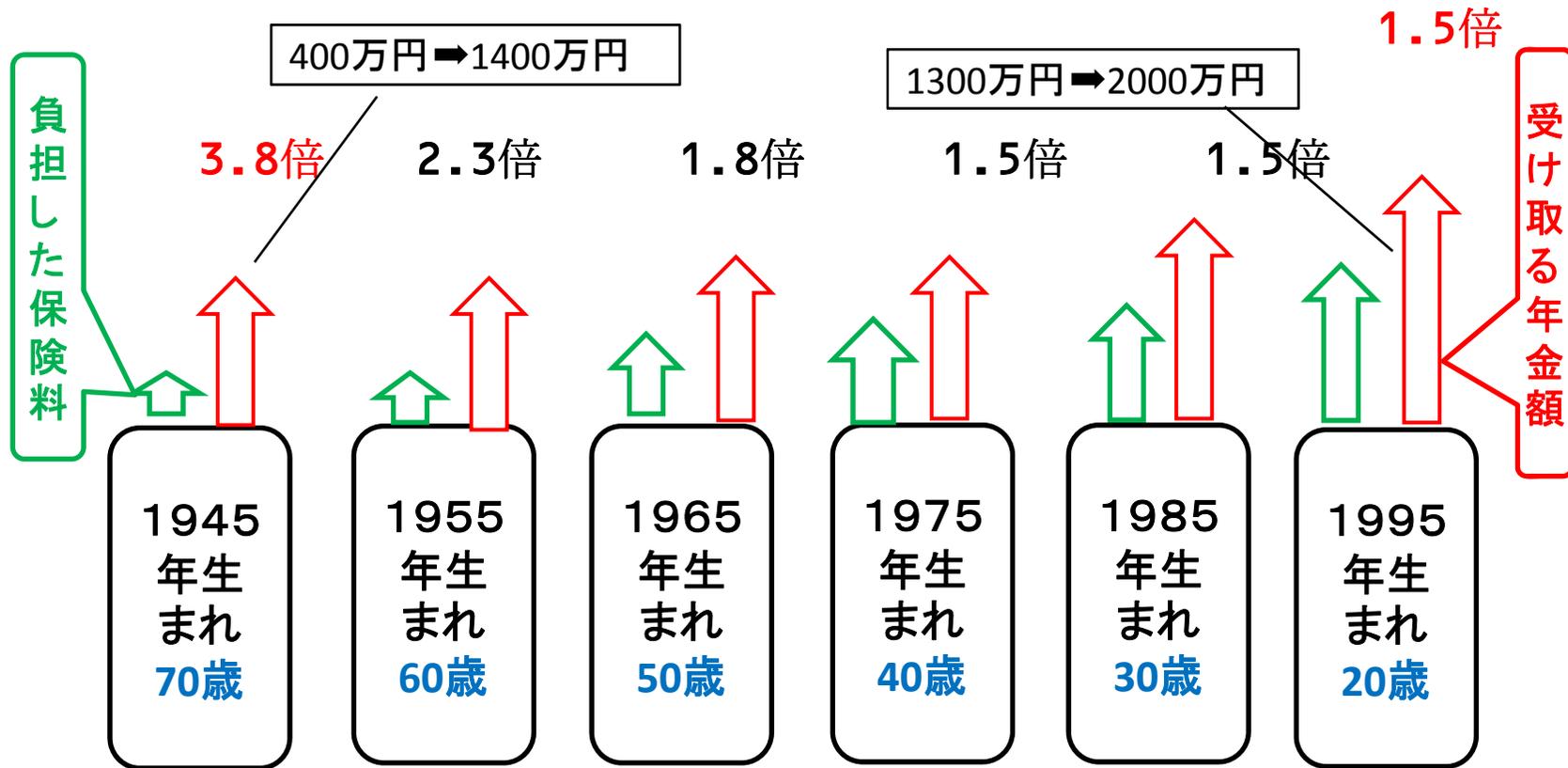
◎ 「年金」は「社会保険」①！・・・

年金の「世代間格差」 → 受け取る年金額は負担した保険料の何倍か？ → (厚生年金の場合) **2.3**



◎ 「年金」は「社会保険」②！・・・

年金の「世代間格差」 ➡ 受け取る年金額は負担した保険料の何倍か？ ➡ 国民年金の場合



◎現行の「年金制度」,「賦課方式」について・・・

(1)「年金制度」は、皆で支える「**保険**」が基本！！

様々なリスク,特に「**長生きリスク**」には「**保険**」で対処することが最善。

➡「**年金**」は単に「**損**」・「**得**」を重視した「**金融商品**」として考えてはいけないのでは?! ➡ 同じ時期を生きる,高齢者への「**幸せ**」のシェア(世代間扶養)である。

現在と将来の自分も助けてもらえる,「**幸せ**」のシェアになる!

(2)「**世代間不公平**」があるという「**損**」・「**得**」のことだけを重視した抜本的改革の主張,つまり「**賦課方式**」から「**積立方式**」へ移行すべきという意見は現実的だろうか?・・・「**人生**」,そして「**社会**」のさまざまなリスク分散のための「**賦課方式**」は,それなりに意義がある。

(3)しかし,持続可能な「**年金制度**」のために,常に改善が必要!

➡ **物価スライド制**や**マクロ経済スライド**の導入!

但し,「**マクロ経済スライド**」の導入による年金支給額の減額などは問題があるのでは(高齢者の「**貧困**」問題)?

➡「**老後破産**」や「**下流老人**」の問題など。



(いらすとや)

(5) 年金保険料の「未納問題」について —「年金財政」は破綻するの？—

- ・国民年金納付率が低迷，63.1%に。(納付率の定義にも注意！)

(但し、**公的年金**加入者全体では、約96%の者が保険料を納付。未納者は4%、268万人。25人に1人である。全体では、6727万人。厚労省25年度資料)

⇒「公的年金」は、支え合いの仕組みである。⇒保険料を40年間納めると、年額約78万円。

支払った保険料に相当する
「年金」が将来もらえない！

正しい知識と公正な判断が必要
「年金リテラシー」を！
モラルハザードはダメ！！

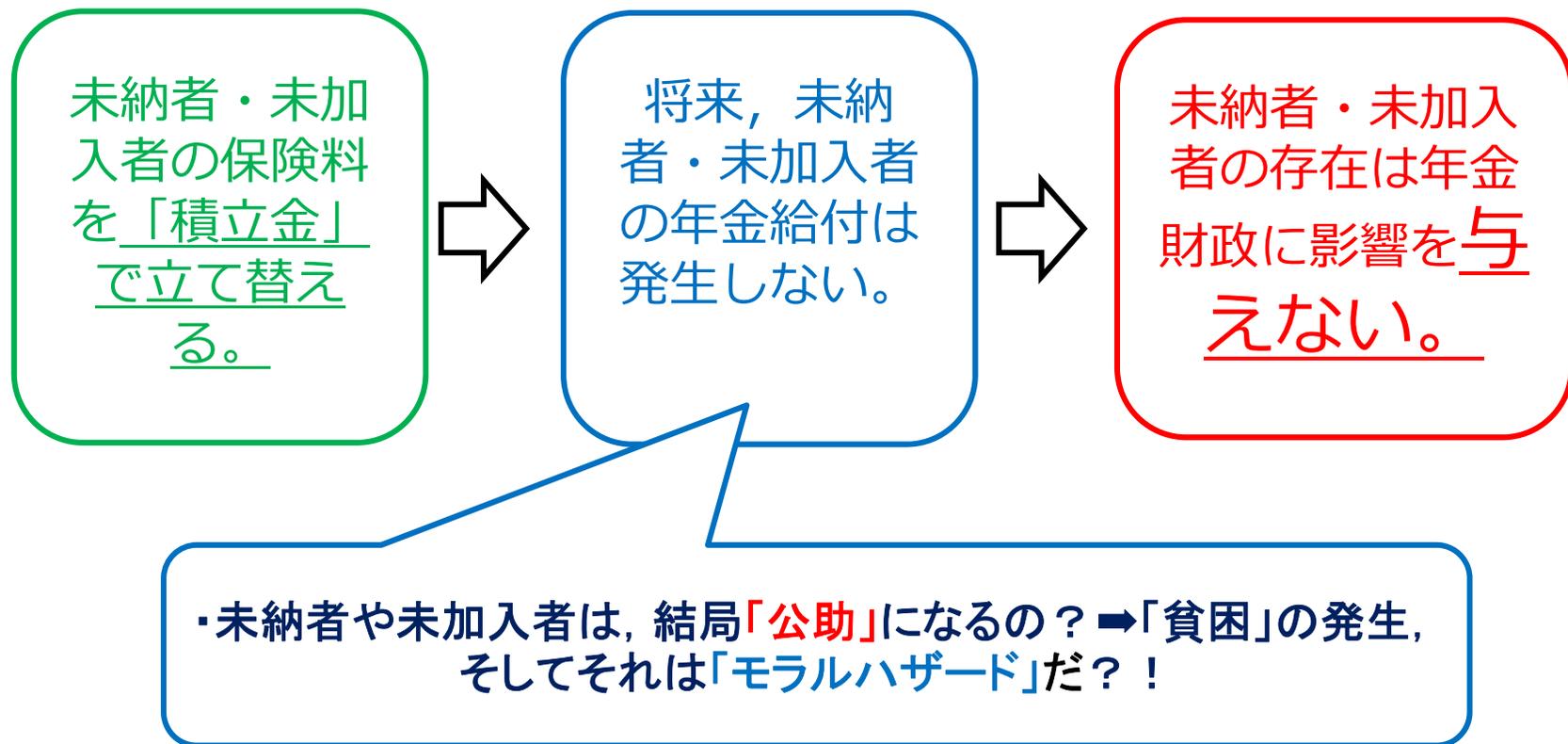
「年金財政」は
破綻する？！

老後は何とかなる。
保険料払わない！

困ったら、「扶助」してもらおう。
「フリーライダー」の
発生！？

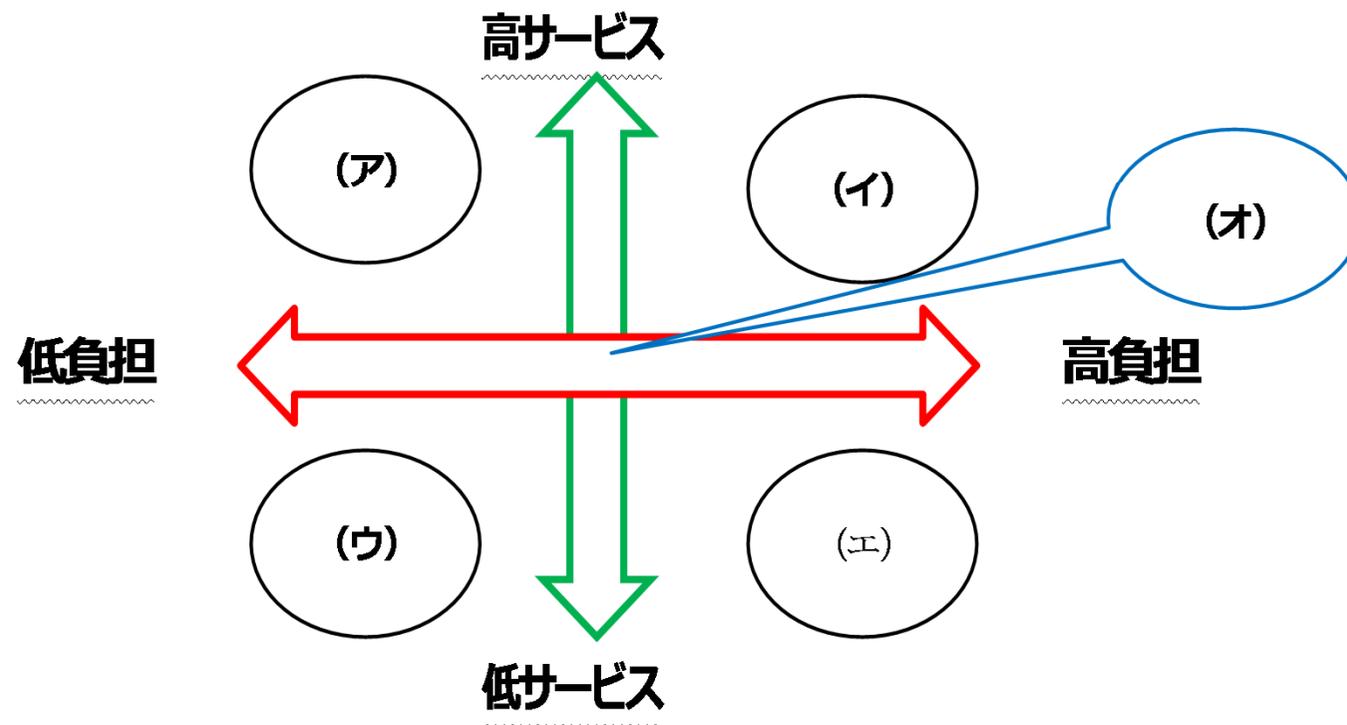
○「未納」が増えると「年金財政」が「破綻」するのか？

- 未納者の増加は、低年金や無年金者の増加となり、「国民皆年金」の理念を脅かす、でも「破綻」しない！



(6) あなたが望ましいと考える「社会保障」制度とはどれ？

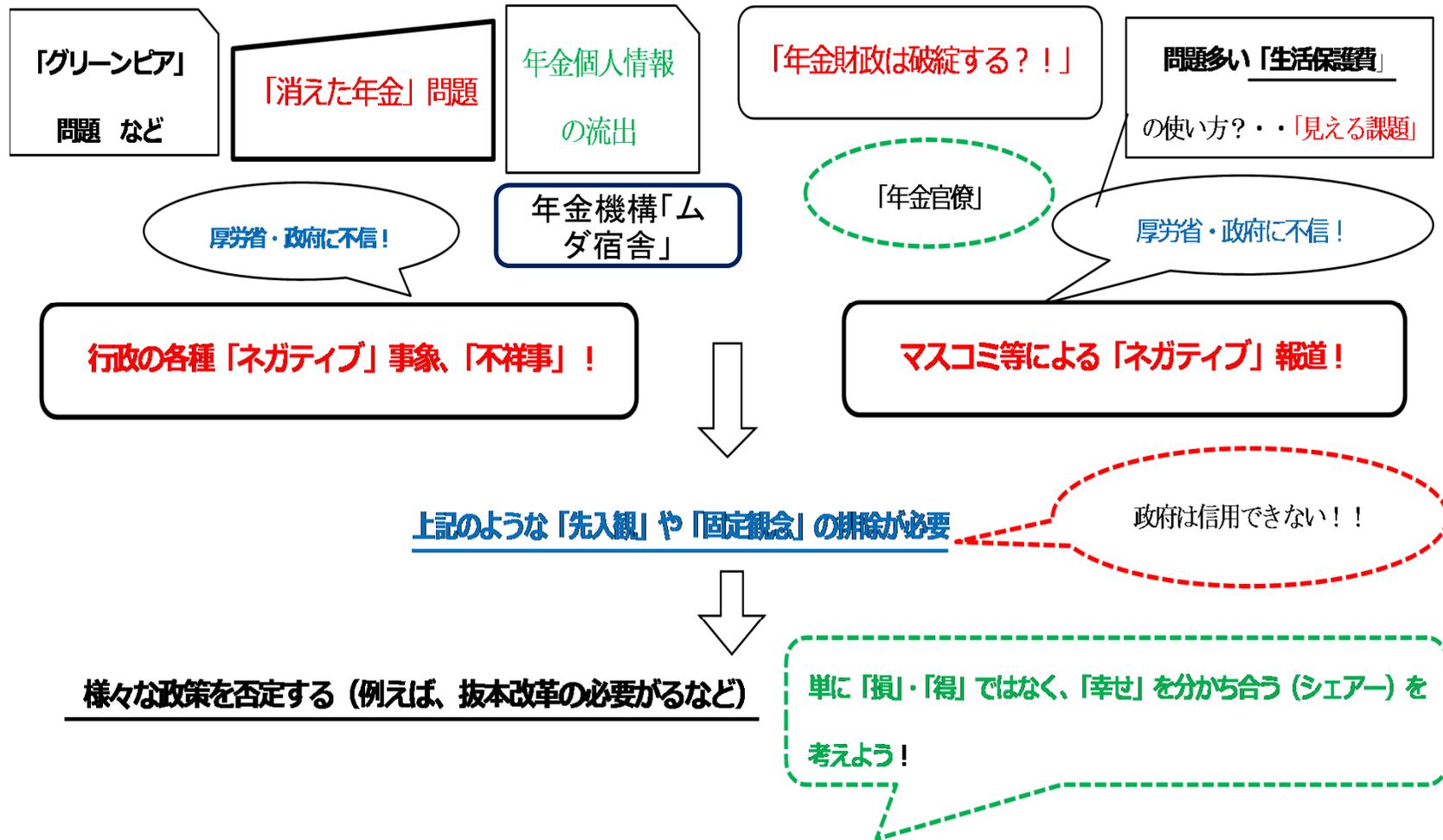
あなたが望ましいと思う、「社会保障制度」とは、以下の (ア) ~ (オ) のどれですか？



(厚労省の資料を参考に作成)

(7) 「正しい事実」と「大切なこと」とは?!

- 「年金」を取り巻くさまざまな「ネガティブ」事象! . . .



「年金」についての正しい知識の習得、情報の収集、そして公正な考察の必要! →公正な「年金リテラシー」が必要!!

(8)「年金」問題は他の様々な社会問題(特に「貧困」, 雇用・労働問題)に関連する！！

高齢者の雇用促進
(定年制の延長など)

非正規労働
から正規労働へ！

安定した年金財政
⇒経済成長を！

年金問題の改善へ！！

「少子化」, 「人口減少」
への打開策！！

「単身世帯」の減少を！
(一人暮らし高齢者の増加)

「老後破産」や
「下流老人」
の防止を！！

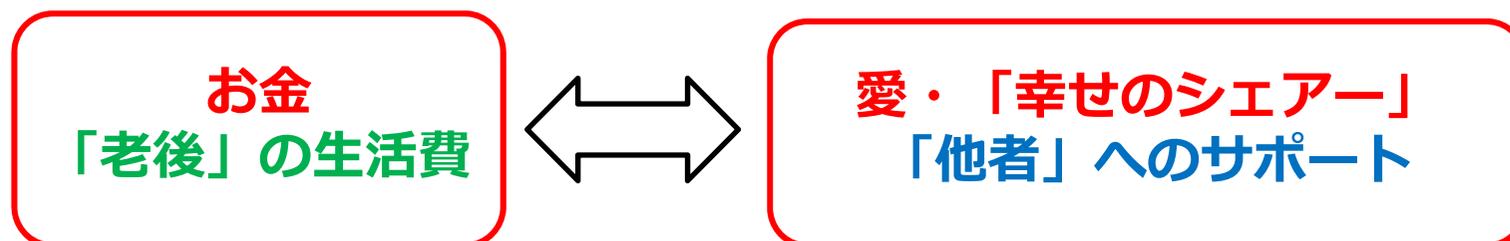


(いらすとや)

(9)そして最後に、高校生のみんなへ！！

・ ・ 「正しい事実」と「大切なこと」 ・ ・

- 「お金」は将来の自分の「年金」のこと、そして「愛」は年金制度による他者への「幸せのシェア」！
- そして「年金制度」は「長生きリスク」を回避することである。



★高校生や短大生，そして大学生として考えるべきことは何か。

- ①「18歳選挙権」の導入により，もっと政治や「社会問題」に関心をもとう。
- ②自分の将来や人生，そして老後，さらに「家族」のことを。
- ③さらに「年金」のこと，そしてこれからの「日本」のことを考えてみよう。